

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士3年制	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実 習
科 目 名	臨地実習Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	405 (9)
対 象 学 年	3年	学期及び曜時限	前期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	齋藤真之介				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として総合病院に勤務。眼科一般検査、視能矯正検査・訓練に従事。				
《授業科目における学習内容》					
医療現場において、医療倫理に基づく基本的なマナーを実践し、視能訓練士として必要な知識・技術を理解修得する。また、視能訓練士業務を行うのに必ず修得しておかなければならない基本的事項について見学及び実習を行い、自己課題の発見と問題解決への思考を身につける。					
《成績評価の方法と基準》					
別途、実習評価基準(学外実習の手引き)に基づく。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「視能学第2版」「視能矯正学 改訂第3版」ほか学内授業で使用した教科書他					
《授業外における学習方法》					
各施設において眼科診療のおける検査、接遇、チーム医療について実践的に学ぶ。実習で学んだ内容を毎日レポートにし、最終年次として臨床実習の集大成として、今後視能訓練士として勤務する際に活用できるものを作成する。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください					
<b>実習プログラム</b>					
実習期間 時間数	5月月下旬から8月上旬にかけて2施設で実習(合計405時間)				
実習の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 問診をとり、眼疾患に応じた必要な検査を列挙することができる。</li> <li>2) 検査結果から治療方針が理解できる。</li> <li>3) 視能矯正学に基づいた知識をもって臨地での検査ができる。</li> <li>4) ロービジョンの実際について見聞を広める。</li> </ol>				
実習の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問診</li> <li>・眼科一般検査 全般</li> <li>・斜視、弱視</li> <li>・ロービジョン</li> <li>・診察、手術見学など</li> </ul> 各実習施設の専門性に準じる				